安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	32-4639-4	**版**	4.00
発行日	2024/12/09	**前発行日**	2022/03/27

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
解体型防湿レジン55J（KIT）

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品である。SDSには個々の構成品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。　この製品を構成する製品のSDS番号は：

32-4252-6, 32-4588-3

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

キット：コンポーネント 情報修正.
セクション１４：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	32-4252-6	**版**	5.00
発行日	2024/12/09	**前発行日**	2023/03/01

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
解体型防湿レジン55J（パートA）

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
封止樹脂

1.3. 会社情報
供給者 スリーエム ジャパン株式会社
所在地 本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門 電力マーケット技術部
電話番号 042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分２Ｂ
皮膚感作性： 区分１
生殖毒性：区分１
発がん性： 区分２
生殖細胞変異原性： 区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分２
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分２

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
感嘆符　健康有害性　環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H320	眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H351	発がんのおそれの疑い
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H371	臓器の障害のおそれ： 免疫系。
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 呼吸器
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 免疫系。 肝臓。
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

P308 + P311　ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
P391　漏出物を回収すること。

保管
P405　施錠して保管すること。

廃棄
P501　内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）(MW不明ないし<=700))	25068-38-6	50
タルク	14807-96-6	15 - 40
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	13
ジエチレングリコールジブチルエーテル	112-73-2	0.5 - 5.0
酸化チタンルチル型	1317-80-2	< 2.0
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	6995-92-2	1.1
シリカ	7631-86-9	< 1.0
ジブチルすず化合物	3669-02-1	0.52

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。 長期ある

いは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。 火災の場合：消火するために二酸化炭素又はドライケミカル消火器を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
アルデヒド	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
塩化水素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。 新鮮な空気でその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　指定された個人保護具を使用する。

保管
熱から離して保管する。　酸から離して保管する。　強塩基から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。　アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
不活性あるいは有害なダスト	1317-80-2	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	1317-80-2	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
二酸化チタン	1317-80-2	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
二酸化チタン	1317-80-2	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA (提案)(8 時間):0.3 mg/m3	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
不活性あるいは有害なダスト	14807-96-6	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA (吸入性分画) ：2 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	限界値は未設定	1：ヒトに対して発がん性がある。
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA (推奨)(8時間):4 mg/m3	
スズ、有機化合物	3669-02-1	ACGIH	TWA (スズとして) ：:0.1 mg/m3、STEL (スズとして) ：0.2 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収

				の危険性
スズ、有機化合物	6995-92-2	ACGIH	TWA（スズとして）：:0.1 mg/m3、STEL（スズとして）：0.2 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収の危険性
不活性あるいは有害なダスト	7631-86-9	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	7631-86-9	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	粘調
色	ベージュ。
臭い	エポキシ
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*データはない。*
引火点	154 °C［*試験方法：*クリーブランド開放式］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.23 g/ml
比重	1.23 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	無視できるレベル。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
アミン類
強酸
強塩基
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
中程度の眼の刺激：　発赤、腫脹、痛み、流涙、眼のかすみなどの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激：　腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
免疫学的影響： 循環免疫細胞数の変化、アレルギー性皮膚反応、アレルギー性呼吸器反応、免疫能の変化などが含まれる。

長時間又は反復暴露した場合：
塵肺症： 持続性のせき、無呼吸、胸痛、喀痰増加、肺機能検査結果の変化などの症状。 肝臓への影響：食欲減退、体重減少、疲労、虚弱、腹部圧痛及び黄疸などの症状。 免疫学的影響： 循環免疫細胞数の変化、アレルギー性皮膚反応、アレルギー性呼吸器反応、免疫能の変化などが含まれる。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

遺伝子毒性
遺伝子毒性・変異原性：遺伝子と相互作用を起こし、遺伝子発現を変化させる可能性がある。

発がん性
発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂）(MW不明ないし<=700))	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂）(MW不明ないし<=700))	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	皮膚	ウサギ	LD50 15,076 mg/kg
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	ラット	LD50 > 20,000 mg/kg
酸化チタンルチル型	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタンルチル型	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタンルチル型	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
ジエチレングリコールジブチルエーテル	皮膚	ウサギ	LD50 3,555 mg/kg
ジエチレングリコールジブチルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 3,900 mg/kg
シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シリカ	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	ウサギ	軽度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	ウサギ	わずかな刺激
酸化チタンルチル型	ウサギ	刺激性なし
シリカ	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	ウサギ	中程度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	ウサギ	刺激性なし
酸化チタンルチル型	ウサギ	刺激性なし
シリカ	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	ヒト及び動物	感作性あり
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	モルモット	区分に該当しない。
酸化チタンルチル型	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	モルモット	感作性あり
ジブチルすず化合物	モルモット	感作性あり
シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	ヒト	区分に該当しない。
タルク	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	In vivo	変異原性なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	In vivo	変異原性なし

アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタンルチル型	In vitro	変異原性なし
酸化チタンルチル型	In vivo	変異原性なし
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	In vivo	変異原性
ジブチルすず化合物	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジブチルすず化合物	In vivo	変異原性
シリカ	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）(MW不明ないし<=700))	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタンルチル型	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタンルチル型	吸入した場合	ラット	発がん性
シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）(MW不明ないし<=700))	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）(MW不明ないし<=700))	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）(MW不明ないし<=700))	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）(MW不明ないし<=700))	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,080 mg/kg/日	1 世代
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	28 日
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 170 mg/kg/日	1 世代
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 2 mg/kg/日	授乳期早期交配
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 2.5 mg/kg/日	妊娠期間中

ジブチルすず化合物	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 2 mg/kg/日	授乳期早期交配
ジブチルすず化合物	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 2.5 mg/kg/日	妊娠期間中
シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	経口摂取	免疫システム	臓器への影響	ラット	LOAEL 5 mg/kg	
ジブチルすず化合物	経口摂取	免疫システム	臓器への影響	ラット	LOAEL 5 mg/kg	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ないし<=700))	経口摂取	聴覚系 ｜ 心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症 ｜ 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m3	113 週
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	28 日
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	経口摂取	内分泌系 ｜ 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	経口摂取	皮膚 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,250 mg/kg/day	103 週
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	経口摂取	心臓 ｜ 消化管 ｜ 造血器系 ｜ 免疫システム ｜ 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
酸化チタンルチル型	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタンルチル型	吸入した	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手	職業性被ば

	場合				できない	く
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	経口摂取	肝臓	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 2 mg/kg/day	2 週
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	経口摂取	免疫システム	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.3 mg/kg/day	28 日
ジブチルすず化合物	経口摂取	肝臓	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 2 mg/kg/day	2 週
ジブチルすず化合物	経口摂取	免疫システム	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.3 mg/kg/day	28 日
シリカ	吸入した場合	呼吸器系 | 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分２：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ジエチレングリコールジブチルエーテル	112-73-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	41.3 mg/l
ジエチレングリコールジブチルエーテル	112-73-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	42.5 mg/l

ジエチレングリコールジブチルエーテル	112-73-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	16.1 mg/l
ジエチレングリコールジブチルエーテル	112-73-2	液状化	実験	3 時間	EC50	769 mg/l
酸化チタンルチル型	1317-80-2	液状化	推定値	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
酸化チタンルチル型	1317-80-2	珪藻	推定値	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタンルチル型	1317-80-2	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタンルチル型	1317-80-2	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタンルチル型	1317-80-2	珪藻	推定値	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
シリカ	7631-86-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	6995-92-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))	25068-38-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))	25068-38-6	ミジンコ	推定値	48 時間	LC50	1.8 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジ	25068-38-6	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l

フェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))						
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>11 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))	25068-38-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.3 mg/l
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	液状化	実験	3 時間	EC50	>350 mg/l
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	緑藻類	実験	72 時間	EbC50	>500 mg/l
アジピン酸ビス（２－エチ	103-23-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>500 mg/l

ルヘキシル)						
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>100 mg/l
ジブチルすず化合物	3669-02-1	藻類または他の水生植物	推定値	96 時間	EC50	0.0167 mg/l
ジブチルすず化合物	3669-02-1	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.21 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジエチレングリコールジブチルエーテル	112-73-2	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301F
酸化チタンルチル型	1317-80-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シリカ	7631-86-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	6995-92-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))	25068-38-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))	25068-38-6	実験 加水分解		加水分解性半減期	117 時間 (t 1/2)	
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90 %BOD/ThOD	OECD 301F
ジブチルすず化合物	3669-02-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジエチレングリコールジブチルエーテル	112-73-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.92	OECD 107類似法
酸化チタンルチル型	1317-80-2	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<10	
シリカ	7631-86-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	6995-92-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)（MW不明ないし<=700))	25068-38-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.242	
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	27	
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	8.94	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
ジブチルすず化合物	3669-02-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： ３０８２ 環境有害物質（液体）

輸送分類（IMO）：9　その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9　その他の有害性物質

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達　基発第３１２号の３の別添１「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
化管法：第１種指定化学物質
消防法：第四類第三石油類
船舶安全法、航空法：有害性物質
海洋汚染防止法：環境有害物質
本製品に含まれるシリカは安衛法の結晶質シリカに該当しない。

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（MW不明ない	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状の	適用しない	該当	該当

し<=700))	ものに限る)			
ジブチルすず化合物	すず及びその化合物	該当	該当	該当
酸化チタンルチル型	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
ジブチル(メトキシ)スタンニル＝メチル＝マレアート	有機スズ化合物（ビス(トリブチルスズ)＝オキシドを除く）(Snとして)	664	第1種指定化学物質
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	567	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１０：避けるべき条件 情報修正.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：化管法の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうか

をご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	32-4588-3	**版**	3.00
発行日	2024/12/09	**前発行日**	2023/03/27

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
解体型防湿レジン55J （パートB）

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
封止

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類
急性毒性（経口）： 区分４

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H302	飲み込むと有害

注意書き

安全対策

P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。

応急措置

P330	口をすすぐこと。
P301 + P312	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	40 - 70
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	103-23-1	35
フェノール化合物	営業秘密	1 - 5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

皮膚に付着した場合

暴露した場合、石鹸と水で洗浄する。症状が発現した場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために二酸化炭素又はドライケミカル消火器を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　環境への放出を避けること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管
熱から離して保管する。　酸から離して保管する。　強塩基から離して保管する。　酸化剤から離して保管す

る。　湿気を遮断すること。　アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	AIHA	TWA(エアロゾルとして):10 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具
特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具
化学防護手袋は不要。

呼吸用保護具
特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	液体/固体
色	黄色
臭い	微香。
臭いの閾値	*データはない。*

pH	*データはない。*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*データはない。*
引火点	208 °C［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	0.97 g/ml［試験条件： 25 °C ］
比重	0.97 ［試験条件： 25 °C ］［*参照基準：*水=1］
溶解度	無視できるレベル。
溶解度（水以外）	完全に溶解する［*詳細：*芳香族炭化水素やアルコール類。］
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	4,330 mm2/sec
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

水、湿気との反応で微量のメタノールを発生しながらゲル化するが、その反応は緩やかでゲル化物についても特に有害ではない。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
アミン類
強酸
強塩基
強酸化性物質

危険有害な分解物
物質 **条件**
知見はない。

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
人体への健康影響は考えられない。

皮膚に付着した場合
製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
飲み込むと有害

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >300 - =2,000 mg/kg
変性ポリプロピレングリコール	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
変性ポリプロピレングリコール	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	皮膚	ウサギ	LD50　15,076 mg/kg

アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	ラット	LD50 > 20,000 mg/kg
フェノール化合物	皮膚		推定値 1,000 - 2,000 mg/kg
フェノール化合物	吸入－粉塵/ミスト		推定値＞ 12.5 mg/l
フェノール化合物	経口摂取		推定値＞ 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
変性ポリプロピレングリコール	入手できない	刺激性なし
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
変性ポリプロピレングリコール	入手できない	軽度の刺激
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
変性ポリプロピレングリコール	ヒト及び動物	区分に該当しない。
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
変性ポリプロピレングリコール	In vitro	変異原性なし
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	In vivo	変異原性なし
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,080 mg/kg/日	1 世代

アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	28 日
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 170 mg/kg/日	1 世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	28 日
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	内分泌系 | 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	皮膚 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,250 mg/kg/day	103 週
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	経口摂取	心臓 | 消化管 | 造血器系 | 免疫システム | 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
変性ポリプロ	営業秘密	緑藻類	類似コンパウ	72 時間	ErC50	>100 mg/l

ピレングリコール			ンド			
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	105.8 mg/l
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	>100 mg/l
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEC	100 mg/l
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	>=10 mg/l
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
フェノール化合物	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	液状化	実験	3 時間	EC50	>350 mg/l
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	緑藻類	実験	72 時間	EbC50	>500 mg/l
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>500 mg/l
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル)	103-23-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	93.6 %BOD/ThOD	OECD 301F
フェノール化合物	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アジピン酸ビス（２－エチ	103-23-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90 %BOD/ThOD	OECD 301F

ルヘキシル）						

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
変性ポリプロピレングリコール	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	≤1.13	EC A.8 分配係数
フェノール化合物	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	103-23-1	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	27	
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	103-23-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	8.94	OECD 117、log Kow （オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

消防法：第四類第四石油類
地方労働局長宛て通達　エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について　昭和57年6月8日基発第339号
化管法：第１種指定化学物質

主な法規制物質

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
アジピン酸ビス（２－エチルヘキシル）	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	567	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション３：成分表 情報修正.
セクション８：OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１０：避けるべき条件 情報修正.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報の追加.
セクション１１：発がん性 情報の削除.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：生殖発生影響 情報の追加.
セクション１１：生殖毒性の表 情報の追加.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報の削除.
セクション１１：特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報の削除.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報の追加.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：化管法の表 情報の追加.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。